

令和7年度 第2回 小中一貫校むくのき学園 学校協議会 実施報告書

校 名 大阪市立啓発小学校  
大阪市立中島中学校  
校 長 古 田 晃 久

日 時	令和7年11月20日（木曜日） 18：00～19：15	
場 所	校長室	
出席者	委員など	保坂会長 稲毛委員 吉原委員 脇阪委員 床田委員 徳田委員
	校 園	古田校長 松田副校長 中原教頭 東教頭 太田首席
	区役所	上井課長代理
議 題	(1) 国際バカロレア教育の導入について (2) 令和7（2025）年度「運営に関する計画・自己評価（中間評価）」について (3) 令和7（2025）年度「全国学力・学習状況調査」の結果について (4) 今後の学校行事について (5) 学校運営に関する提言等	
協 議 要 旨	協議の結果	
	(1)	理解を得た
	(2)	理解を得た
	(3)	確認された
		意見の概要
		・学校からの文書やHPをみても、具体的なイメージがわからない保護者が多く、英語教育の一環ととらえられている方が多いように思う（徳田委員） ・説明会は開催するのか（吉原委員） →今のところ予定はない（古田校長） ・バカロレアの導入は、学校の特色となり、児童生徒も増えると思われる。楽しみであり、期待している ・小学校と中学校の数値結果がかけ離れているのはなぜか（吉原委員） →同一分母での調査ではないので比較することはできない。調査学年としての特色が出る（古田校長） ・授業や勉強が楽しければ成績も上がると思うが、そのやる気をどうやって引き出すのかがポイントである（吉原委員） ・家庭環境や学習意欲など原因はさまざまであると推測するが、どのような対策をとっているのか（保坂会長） →ICT機器を利用しての学習習慣の定着を図り、また、「わからないからもういい」とならないように、児童生徒の状況に寄り添い、教員は根気よく指導を行っている（古田校長） ・進路希望調査は何年生で行っているのか（床田委員） →具体的に受験校名を書くという調査自体は9年生になってからであるが、小学校からキャリア教育と

	(4) 確認された		して、仕事についていろいろな形で体験を行っている（古田校長） ・学力の数値ではなく、子どもたちに生きる力をつけていってほしい。学校が新しい価値観をリードし、子どもたちが自慢に思えるような学校になってほしい
協議 資料	■レジメ 1 部 ■国際バカロレア教育導入に係る関係資料 ■令和 7（2025）年度「運営に関する計画・自己評価（中間評価）」 ■（小学校）令和 7（2025）年度「全国学力・学習状況調査」の結果 （中学校）令和 7（2025）年度「あゆみ」		
備考	傍聴者[ 0 ]名		